

# 平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	消防本部	通信指令課	内線等	99 - 302
----	------	-------	-----	----------

事業コード		事務事業名	気象観測装置による記録事業				
根拠法令等			A法令	B条例	C規則	Dその他	<input checked="" type="radio"/> なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	消防・救急
------------------	-------

事務事業の内容

対象	蒲郡市の24時間気象観測で
手段	消防本部設置されている自動気象観測装置によって
想定する成果	災害を予測し、拡大を防止するために防災活動機関等に情報提供する。

事業の概要

(千円)

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
運転経費 (保守管理委託料)	359	359	359
(消耗品代)	61	0	120
合計	420	359	479

成果指標

成果指標名	情報提供回数	
成果指標の説明	火災報告書・災害活動報告書・焚火の中止・民間からの情報提供・災害対策本部設置・農林水産課に降雨量	

事業の進捗状況

( 一般 会計 )

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			332回
	実績	291回	332回	
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	420	359	479
	人件費	2,507	2,478	2,526
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	2,927	2,837	3,005
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	2,927	2,837	3,005

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	3	3	災害対策本部設置された時に30分ごとに気象情報を送り、被害軽減の為に役立った。
経済効率性	2	2	保守委託料が高い。(平成9年2月購入)
事務効率性	2	3	自動気象観測装置であり、保守程度の手間ですんでいる。
必要性	3	3	消防本部が開設以来、無くてはならない事業
小計	10 / 12 満点中	11 / 12 満点中	
市民参加度	-	-	市民に直接の利害がない事業である。
合計	10 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	A	消防活動上、気象情報は無くてはならないものであり、市民の生命 財産を災害に因る被害を軽減することが重要な目的である。
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

毎日の気象データを、プリントアウトする連続記録用紙を不要になった課から譲り受けた。

今後改善すべき点

災害時に、情報提供を迅速に行うことが必要である。観測情報をデータ化してパソコンで表示するべき。

平成16年度予算に反映する項目

--

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

# 平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	消防本部	通信指令課	内線等	99-302
----	------	-------	-----	--------

事業コード		事務事業名	消防・救急無線による運用事業				
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則	D その他	<input checked="" type="radio"/> なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	消防・救急
------------------	-------

事務事業の内容

対象	消防・救急に係る情報について
手段	携帯無線機、トランシーバーを運用することにより
想定する成果	円滑な情報伝達をおこなう。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
携帯無線機	41	35	35
トランシーバー	0	12	12
合計	41	47	47

成果指標

成果指標名	携帯無線機、トランシーバー保有台数
成果指標の説明	携帯無線機、トランシーバー保有台数

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画			47台
	実績	41台	47台	
成果指標	計画			
	実績			
事業費	事業費	2,837	1,254	1,254
	人件費	16,526	16,844	16,844
	(人数)	2.0	2.0	2.0
	合計	19,363	18,098	18,098
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	19,363	18,098	18,098

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	2	必要な情報は、全て伝達ができています。
経済効率性	2	2	携帯無線機の単価がやや高い。
事務効率性	2	2	台数を増やして現場活動に生かしたい。
必要性	3	3	消防・救急活動において、なくてはならない事業である。
小計	10 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	-	-	
合計	10 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	平成23年以後にはデジタル化になり、現在の無線機が使用出来なくなり、新規の携帯無線機の購入を極力抑えていく方針。
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

平成14年度に携帯無線機1台の購入金額（約30万円）でトランシーバー12台購入した。
--

今後改善すべき点

平成23年のデジタル化に備え、携帯無線機 トランシーバーの購入計画を、作成する必要がある。
---

平成16年度予算に反映する項目

平成16年度はトランシーバーを数台の予算請求をする。
----------------------------

組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載